

新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



項目名

- ROS1 融合遺伝子 mRNA 凍結組織・細胞 (依頼コード No.13089)
FFPE (依頼コード No.13090)

受託開始日 2017年9月1日(金) 受付分より

ROS1融合遺伝子は、EGFR遺伝子変異やALK融合遺伝子と同様に、肺癌の重要なドライバー遺伝子の1つであり、本融合遺伝子陽性の肺癌に対してはチロシンキナーゼ阻害薬であるクリゾチニブの高い治療効果が報告されています。

本検査は、腫瘍組織や細胞検体、またはパラフィン包埋病理標本(FFPE)からROS1融合遺伝子のmRNAを検出します。本融合遺伝子の頻度は、非扁平上皮非小細胞肺癌の約2%と稀少であり、癌の臨床病理学的な特徴からの推定が難しいことから、互いに排他的に検出されるEGFR遺伝子変異およびALK融合遺伝子と共に本検査を非扁平上皮非小細胞肺癌に適用することが望まれます。

裏面に続きます

株式会社 **ビー・エム・エル**

本社：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3

総合研究所：〒350-1101 埼玉県川越市の場1361-1

☎ 049(232)3131 FAX 049(232)3132

検査項目検索用
アプリ B-Book



Google play



Available on the
App Store



電子カルテはビー・エム・エル

Qualis
Medical Station

受託要領

依頼コード No.	13089	13090
検査項目名	ROS1融合遺伝子(凍結組織・細胞)	ROS1融合遺伝子(FFPE)
検体必要量	組織 / 50mg 細胞沈渣 / 0.2mL	未染パラフィン切片 / 10 μ m厚5~10枚 未染標本スライド / 5~10枚
容器	B-20 (遺伝子診断用)	B-20 (遺伝子診断用)
検体の保存方法	凍結	室温
所要日数	6~12	
検査方法	RT-PCR法	
単位	なし	
報告範囲	陰性、陽性	
備考	<p><曜日指定>受託可能曜日:月~金</p> <ul style="list-style-type: none"> ●検体中に腫瘍細胞が30%以上含まれていることをご確認の上、ご提出ください。 ●細胞検体は、採取後速やかに遠心操作し、できるだけ上清を除去した沈渣を凍結してください。 ●細胞数の不足やRNAの分解により、判定不能となる場合があります。予めご了承ください。特に細胞検体の室温放置とパラフィン切片材料の固定・保管条件は大きな影響が予想されますのでご注意ください。 	
検査実施料 / 判断料	2500点 / 34点(尿・糞便等検査)	

【参考文献】

- 1)日本肺癌学会: 肺癌患者におけるROS1融合遺伝子検査の手引き 第1.0版, 2017.
- 2)W.Cai, et al.: Annals of Oncology 24, 1822-1827, 2013.